

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【公開番号】特開2011-67658(P2011-67658A)

【公開日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-014

【出願番号】特願2010-267312(P2010-267312)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月29日(2012.2.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の実行条件が成立した後にあらかじめ定められた開始条件が成立することにより各々が識別可能な複数種類の識別情報の可変表示を行ない表示結果を導出表示する可変表示装置と、遊技の進行を制御するとともにコマンドを出力する遊技制御手段と、前記遊技制御手段からのコマンドにもとづいて各種の制御を実行可能な演出制御手段とを備え、前記可変表示装置の表示結果が予め定められた特定表示結果となった後に遊技者に有利な特定遊技状態を発生させる遊技機であって、

前記遊技制御手段は、

前記実行条件は成立しているが未だ前記開始条件が成立していない前記実行条件の成立数を保留記憶する保留記憶手段と、

前記保留記憶手段に保留記憶されている成立数を特定するための成立数コマンドを前記演出制御手段に出力する成立数コマンド出力手段とを含み、

前記演出制御手段は、

前記成立数コマンドの入力を契機に、前記可変表示の表示結果が前記特定表示結果となる旨の予告を実行するか否かの予告判定を行なう予告判定手段と、

前記予告判定手段により前記予告を実行する旨の予告判定がなされたときに、前記成立数コマンドに基づいて前記予告を実行する予告実行回数をさらに判定する予告実行回数判定手段と、

該予告実行回数判定手段が判定した予告実行回数に応じた回数分の識別情報の可変表示が行われる毎に所定の予告手段で前記予告を実行する予告実行手段とを備え、

前記予告実行手段は、実行中の前記予告の実行態様を変化させることを特徴とする、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、パチンコ遊技機などで代表される遊技機に関する。詳しくは、所定の実行条件が成立した後にあらかじめ定められた開始条件が成立することにより各々が識別可能な複数種類の識別情報の可変表示を行ない表示結果を導出表示する可変表示装置と、遊技の進行を制御するとともにコマンドを出力する遊技制御手段と、前記遊技制御手段からのコマンドにもとづいて各種の制御を実行可能な演出制御手段とを備え、前記可変表示装置の表示結果が予め定められた特定表示結果となった後に遊技者に有利な特定遊技状態を発生させる遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、上記のような遊技機においては、予告報知がなされたときのさらなる期待感を抱かせることができなかった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この発明は上述の問題に鑑みてなされたものであり、その目的は、遊技者に予告報知のなされたときのさらなる期待感を抱かせることができる遊技機を提供することである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 所定の実行条件が成立（たとえば、打玉が始動入賞口 14 に入賞）した後にあらかじめ定められた開始条件が成立（たとえば、変動パターンコマンドを受信等）することにより各々が識別可能（たとえば、遊技者がそれぞれを区別し認識可能）な複数種類の識別情報（たとえば、数字図柄「1」～「9」等）の可変表示を行ない表示結果を導出表示する可変表示装置（たとえば、可変表示装置 8）と、遊技の進行を制御するとともにコマンドを出力する遊技制御手段（遊技制御基板 31 に搭載されたマイクロコンピュータ等）と、前記遊技制御手段からのコマンドにもとづいて各種の制御を実行可能な演出制御手段（表示制御基板 80 に搭載されたマイクロコンピュータ等）とを備え、前記可変表示装置の表示結果が予め定められた特定表示結果となった後に遊技者に有利な特定遊技状態（たとえば、大当り）を発生させる遊技機（パチンコ遊技機 1）であって、

前記遊技制御手段は、

前記実行条件は成立しているが未だ前記開始条件が成立していない前記実行条件の成立数（たとえば、保留記憶数）を保留記憶する保留記憶手段（遊技制御基板 31 の RAM 55、図 15 の SB06 等参照）と、

前記保留記憶手段に保留記憶されている成立数を特定するための成立数コマンド（たとえば、保留記憶数コマンド等）を前記演出制御手段に出力する成立数コマンド出力手段（図 13 の S14 等参照）とを含み、

前記演出制御手段は、

前記成立数コマンドの入力を契機に、前記可変表示の表示結果が前記特定表示結果となる旨の予告（たとえば、遊技者に報知する、予告等）を実行するか否かの予告判定を行なう予告判定手段（図 21 の SH08 から SH13 等参照）と、

前記予告判定手段により前記予告を実行する旨の予告判定がなされたとき（たとえば、図19のSF04、SF05で「YES」と判別されたとき等）に、前記成立数コマンドに基づいて前記予告を実行する予告実行回数をさらに判定する予告実行回数判定手段と
、

該予告実行回数判定手段が判定した予告実行回数に応じた回数分の識別情報の可変表示が行われる毎に所定の予告手段で前記予告を実行する予告実行手段（図18のSE13、SE18等参照）とを備え、

前記予告実行手段は、実行中の前記予告の実行態様を変化させる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上述の構成によれば、予告実行回数判定手段が判定した予告実行回数に応じた回数分の識別情報の可変表示が行われる毎に所定の予告手段で予告が実行されるために、遊技者の抱く期待感をより一層盛り上げることができる。

また、実行中の予告の実行態様を変化するために、予告態様の変化に遊技者の関心を集め、興味を持たせることができるとともにさらなる期待感を抱かせることができ予告演出を向上させることができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】